



教育実践による地域活性化事業

フォーラム(成果報告会)

15年目を迎えたへき地・複式教育実習をはじめとする和歌山大学の取組は、県内各地の学校・教育機関、地域の方々の多大なるご協力・ご支援があってこそ成り立つものです。人間関係が希薄化していく一方で、「絆」の重要性が再認識されている今こそ地域に根ざした教育の意義を考える機会として、当取組は全国的にもまれな特色あるものとして、注目の度を増しています。和歌山大学でもこれらの期待に応えるため、クロスカル教育機構 教育・地域支援部門を設置し、学生の学びの支援に取り組んでいます。当フォーラムでは、本年度の事業成果の一端を発表するとともに、今後の方向性についても議論したいと思います。

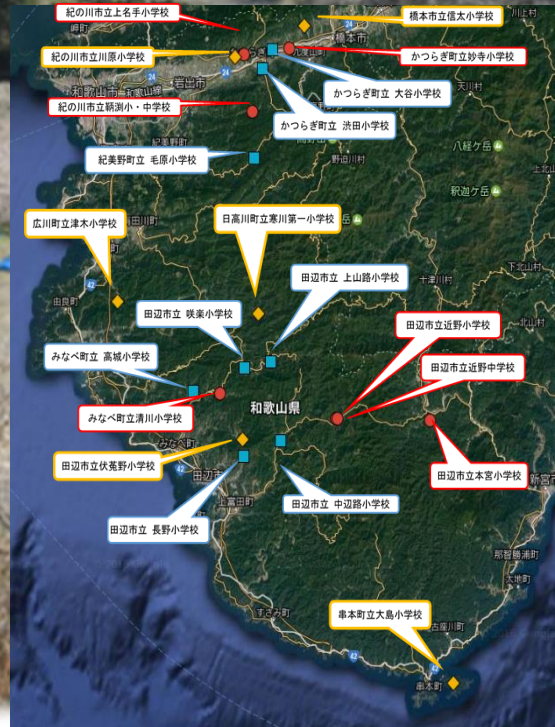


テーマ【教員養成における地域密着型教育実習・体験学習の意義】

当フォーラムでは、まず、この事業で、学生は学校や地域で何を体験し、学び、どう成長したのかを明らかにし、地域密着型実習・体験の意義を探ることとします。また、地域における学校の役割、学校と地域が連携して子どもを育てる意義やその必要性などを再考する機会になればと考えています。さらに、実習・体験をはじめとした教員養成のあり方やへき地学校の抱える教育課題について意見を交わし、大学と地域の学校との双方に利益のある「協働」について検討したいと思います。



平成28年度 受入校一覧



大自然・伝統と特色ある地域性・個に応じた一人ひとりを大切にした教育そして人々の温かさ
教育の原点・日本の原風景の中で学生らは何を体験し何を学び、どう成長したのか？

—2016 年度 教育実践による地域活性化事業フォーラム（成果報告会）—



- 日 時** 2017年3月9日（木）13:00 受付 13:20 開会～16:30 閉会
- 主 催** 和歌山大学 クロスカル教育機構 教育・地域支援部門
和歌山大学 教育学部
- 後 援** 和歌山県教育委員会
- 会 場** 和歌山大学教育学部講義棟 <http://www.edu.wakayama-u.ac.jp>
〒640-8510 和歌山市栄谷 930
- 対 象** 当事業の関係者各位、県内小学校教職員および教育関係者その他学生・一般参加可
- 進 行** 司会 寺川剛央（教育・地域支援部門 副部門長、教育学部副学部長）
- 13:20 開会挨拶 瀧 寛和（和歌山大学 学長）
- 13:35 テーマ別発表
（小規模校活性化支援事業、小規模校実習、へき地・複式教育実習）
- 14:20 学生による成果ポスターセッション （休憩10分間）
- 15:10 ポスターセッションの講評
《実習校関係者、学外教員（他大学の実習担当者）、一般学生、その他当会参加者より》
- 15:40 本年度の総括 平山郁芳／桂俊哉／谷口千明（和歌山大学 客員教授）
- 16:00 当事業のこれまでと今後の実習改革へ向けた提案 豊田充崇（和歌山大学教育学部教授）
- 16:10 当事業について 和歌山県教育委員会より
- 16:20 閉会挨拶 永井邦彦（教育・地域支援部門 部門長、教育学部長）
（※16:30 終了予定）

■問い合わせ先 和歌山大学クロスカル教育機構 教育・地域支援部門（平日 9:00-17:00）
直通電話：073-457-7431（教職実践支援室事務）／電子メール：csc-jimu@center.wakayama-u.ac.jp

※参加費は無料です。参加対象者は限定していませんので、どなたでも参加できます。

◇申し込み方法：上記電子メールアドレスにて直接メールで受け付けます。
（締め切り：3月2日（木）中に送付してください。）

- ・タイトル：「教育実践による地域活性化事業フォーラム参加申し込み」
- ・メール本文：（所属機関／役職／氏名のみお書きの上、送付してください。）

※電子メールが送付できない状況の場合は、電話または Fax でもお伺いしますのでご連絡ください。

※当日参加も可能です。

但し、参加受付名簿および資料の準備の都合がありますので、できるだけ上記電子メールアドレスにて申し込みをお願いします。